

## 主要な観点

男女共同参画社会の実現に向けた県民の皆さんのこれまでの取組と行政施策の展開により、様々な分野での男女の平等感が高まっていますが、男女共同参画社会の実現には至っていません。今後、更に取組を加速し、社会を変革していくための実効性を向上させることが必要です。そのため、特に、次の2つを主要な観点とし、広く県民の皆さんとの協働を進めながら取り組んでいきます。

### [重視すべき課題] 「困難な立場にある女性への支援」

国内経済は停滞し雇用環境は悪化しています。また地域社会の人間関係が希薄化し、地域において支えあう力が弱まるなど、社会経済情勢は変化しています。様々な場面で男女間の不平等な慣行や、固定的な性別役割分担意識が残る中、特に、母子家庭の母親、配偶者からの暴力被害女性の生活・経済上の自立に厳しい影響を及ぼしており、当事者である女性自らの努力のみでは解決が困難な状況になっています。自らの意思によって社会に参画する機会が実質的に確保されていない状況は、男女共同参画社会の実現、個人の尊厳を大きく損なうものです。困難を抱える女性が社会参画へのスタートラインに立つことができるよう支援を行うことは行政の責務であるとともに、地域社会の重大な機能でもあります。

#### <取組の方向>

- 困難な立場にある女性の生活、就労支援策の充実強化を図ります。
- 配偶者からの暴力を未然に防止する取組の充実強化を図ります。
- 各種相談支援制度に関する情報の効果的な提供及び自立に向けた女性間交流を促進します。

### [推進の基本的方向性] 「課題解決型の実践的活動の推進」

これまでの施策や、県民・団体の皆さんの学習、啓発活動などをおして、男女共同参画に関する理解が深まり、意識が醸成されてきました。今後、これらを男女共同参画社会の実現に向け、課題を解決し、社会を変革していく実践的な活動につなげていかねばなりません。

#### <取組の方向>

- 母子家庭の母親、配偶者からの暴力被害女性を身近な地域で支援する団体を育成します。
- 非正規労働や職場での機会や待遇の不平等による継続就労の困難など、働く女性が抱える問題について、社会の問題として共有化を図り、解決に向けて取り組む団体の育成やネットワークの構築を図ります。